



研究発表会のお礼とこれからの要小学校

副校長 菅野 拓郎

11月28日(金)の本校研究授業及び研究発表会には、多数の御来賓の皆様、保護者の皆様に御参会いただきまして、ありがとうございました。また、当日まで運営の御協力をいただきましたPTAの皆様には、重ねて御礼申し上げます。

10月にはまだ青々としていた桜や銀杏の葉も、研究発表会に合わせるように一気に色付き始め、400名を超える参観者の皆様には要小学校の素晴らしさの一つを御覧いただけたことと思います。

そして、何よりも輝いていたのは子供たちの姿です。たくさんの参観者に囲まれとても緊張していたと思いますが、そういった中でも「自分ができる最高の姿を見てもらおう」と努力する姿が随所に見られ、本当に感動しました。また、このような児童を育てるために研究を重ね、日々努力している先生方にも改めて感謝したいと思います。

しかし、教師の間では『研究は発表がスタート』という考え方があります。研究発表会が終わっても、当然子供たちは要小学校に通い続け、成長し続けます。我々教員は、発表した研究の成果を生かしながら、より質の高い学びを提供していかなければなりません。本年度の研究の成果の一つである「学び合い」をこれからも生かし続け、自分の考えを大事に、相手の考えを尊重し、よりよい考えを導き出せる子供たちを育成していきたいと思っています。

みんなの心をつなぐかなめハート Weeks

本校では、11月4日から14日までの期間を「かなめハート Weeks」と位置づけ、全校で人権に関する学習に取り組みました。これは、子供たち一人ひとりが人権について身近に感じ、他者への思いやりや尊重の心を育むことを目的とした週間です。

この期間中、各学年の発達段階や人権課題に応じた学習を行いました。たとえば、1年生では「インターネットの使い方」について学び、6年生が作成した「要小eルール」を参考に、自分たちが守ることを考えました。4年生は初の東京開催となるデフリンピックについて調べ、全校集会でその魅力と意義を発表しました。また実際にデフリンピックを観戦し、パラリンピックと同様にどの人もスポーツを楽しみ、真剣に取り組んでいることを実際に感じ取りました。6年生は拉致問題を題材にしたアニメ「めぐみ」を視聴し、人権について深く考える時間をもちました。

どの学年でも、話し合いや振り返りを通して、「自分と違う誰か」を尊重する気持ちを育てる姿が見られました。今後も、学年や教科を越えて「心のバリアフリー」を進めていけるよう、日常の中で人権を大切にする実践を重ねてまいります。



12月の生活目標「学校をきれいにしよう」 生活指導部

12月の生活目標は「学校をきれいにしよう」です。学校は、子供たちが毎日過ごす大切な場所です。自分たちの使う教室や廊下、トイレなどを丁寧に掃除することで、「きれいにしよう」という気持ちが育ち、心も整います。

日々の清掃活動を通して、自分の役割を果たすことの大切さや、掃除後のさわやかな達成感を感じる児童も多くなります。ご家庭でも大掃除の時期かと思えます。ぜひ学校と連動して、「自分の場所は自分できれいにする」習慣をご家庭でも育てていただければと思います。

また、12月11日(木)には、町会や育成員会の皆様のご協力を得て、たてわり班による「地域清掃」を予定しています。児童は学年を越えて協力しながら、学校周辺のごみ拾いや清掃活動に取り組みます。

こうした体験を通して、学校だけでなく地域の一員としての自覚も育て、住みよい町づくりに貢献しようとする意識を大切に育んでまいります。